

令和6年度熊本支部事業実施結果

実績評価の基準

【KPI設定あり】

	KPI達成度
A	目標を大きく上回った
B	目標を達成した
C	目標未達

【KPI設定なし】

	計画達成度
a	計画以上の実施または効果があった
b	計画通りに実施した
c	計画通りに実施できなかった

※全国順位で評価している項目もあります。

業務グループ事業計画まとめ

【KPI設定あり】

分野	施策分類	K P I			全国順位	実績評価
		R6目標 (R5目標)		R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	
機能 基盤的 保険者	サービス水準の向上	①サービススタンダード（現金給付の申請受付から支給までの標準期間10日間）の達成率	100% (100%)	100% (100%)	—	B
		②現金給付等の申請に係る郵送化率	92.3%以上 (96.0%以上)	93.5% (92.3%)	31位 (38位)	B

【KPI設定なし】

分野	施策分類	事業計画	実績評価
基盤的 保険者機能	業務改革の実践と業務品質の向上	①事務処理体制の強化と生産性の向上	b
		②業務の標準化・効率化・簡素化と職員の意識改革の促進	b
	現金給付等の適正化の推進	①傷病手当金と障害年金等との併給調整の適正実施	b
		②現金給付の不正の疑いに対する支部保険給付適正化 P T における精査と事業主への立入検査	b
		③海外出産育児一時金の不正請求防止	b
		④柔道整復施術療養費及びあんまマッサージ指圧・はりきゅう施術療養費の過剰受診への審査強化	b
		⑤被扶養者資格再確認の徹底	b
		⑥標準化した業務プロセスによる事務処理の徹底	b

業務グループK P I 詳細

① サービススタンダード（現金給付の申請受付から支給までの標準期間10日間）の達成率

R6目標 (R5目標)	R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	実績 評価
100% (100%)	100% (100%)	—	B

現金給付のなかで、特に傷病手当金や出産手当金等の生活保障の性格を有するものについては、申請受付から支給までの標準期間を10日間とすることをサービススタンダードとしており、その達成率をKPIとしている。

【6年度総括】

・日々の進捗管理を徹底したことにより100%を達成することができた。

【7年度方針】

・引き続き日々の進捗管理の徹底を行いKPIの達成を目指す。

② 現金給付等の申請に係る郵送化率

R6目標 (R5目標)	R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	実績 評価
92.3%以上 (96.0%以上)	93.5% (92.3%)	31位 (38位)	B

申請書の受付方法は、窓口受付と郵送受付があるが、加入者・事業主の利便性の向上や負担軽減の観点から、郵送による受付を促進しており、現金給付等の申請書の郵送化率をKPIとしている。

【6年度総括】

・各種広報による郵送による提出案内と返信用封筒の活用等により、対前年度以上の目標を達成することができた。

【7年度方針】

・引き続き各種広報や返信用封筒の活用等により、郵送化による提出を促進し、加入者の利便性を向上させる。

レセプトグループ事業計画まとめ

【KPI設定あり】

分野	施策分類	K P I			全国順位	実績評価
		R6目標 (R5目標)		R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	
基盤的 保険者機能	レセプト点検の精度向上	①協会のレセプト点検の査定率	0.249%以上 (-)※1	0.148% (0.249%)	14位 (5位)	C
		②協会の再審査レセプト1件当たりの査定額	10,167円以上 (9,104円以上)	8,648円 (10,167円)	26位 (8位)	C
	債権管理・回収と返納金 債権発生防止の強化	③返納金債権（診療報酬返還金（不当請求）を 除く。）の回収率	62.81%以上 (-)※1	67.74% (62.81%)	35位 (41位)	B
		④日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月 以内の保険証回収率	87.33%以上 (92.52%以上)	85.72% (87.33%)	22位 (21位)	C

※1：当該項目（査定率及び返納金回収率）は、令和6年度より条件を変更したため、令和5年度目標値は「-」と表記しています。

【KPI設定なし】

分野	施策分類	事業計画	実績評価
基盤的 保険者機能	レセプト点検の精度向上	①システムによる自動点検の活用と内容点検効果の高いレセプトの優先的かつ重点的審査	b
		②支払基金との協議による連携強化とレセプト点検員のスキル向上	b

レセプトグループK P I 詳細

	R6目標 (R5目標)	R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	実績 評価
① 協会のレセプト点検の査定率	0.249%以上 (-)※1	0.148% (0.249%)	14位 (5位)	C
※1：当該項目（査定率）は、令和6年度より条件を変更したため、令和5年度目標値は「-」と表記しています。				
② 協会の再審査レセプト1件当たりの査定額	10,167円以上 (9,104円以上)	8,648円 (10,167円)	26位 (8位)	C

医療機関から提出された診療報酬明細書（レセプト）について、内容に誤りや不備がないかを点検し、誤りや不備があった場合は、診療報酬支払基金へ再審査請求を行い、再審査請求が認められれば「査定」となる。

【6年度総括】

・診療報酬支払基金のAI等による一次審査の精度向上により、協会けんぽにおける二次審査の難易度が上がり、①②ともに目標達成とならなかった。

【7年度方針】

・他支部の高額査定事例を参考にした高点数レセプトの点検を行うとともに、支部内での勉強会（情報共有）や支部独自研修の開催、支払基金との協議を行うことでレセプト点検員のさらなるスキルアップを図る。

レセプトグループK P I 詳細

	R6目標 (R5目標)	R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	実績 評価
③返納金債権（診療報酬返還金（不当請求）を除く）の回収率	62.81%以上 (－)※1	67.74% (62.81%)	35位 (41位)	B
※1：当該項目（返納金回収率）は、令和6年度より条件を変更したため、令和5年度目標値は「－」と表記しています。				
④日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率 (R6年11月までの実績)	87.33%以上 (92.52%以上)	85.72% (87.33%)	22位 (21位)	C

主に健康保険の資格喪失後、誤って資格が切れた保険証を使って医療機関を受診した場合に発生する医療費の返還金債権の回収率。

【6年度総括】

- ・③について、保険者間調整（※2）の処理を推進したことにより、目標を達成することができた。
- ・④について、マニュアルに沿った催告業務等、5年度からの取り組みを継続したが、目標達成とならなかった。

【7年度方針】

- ・③について、高額債務者への早期接触を念頭に置き、保険者間調整のさらなる推進を図り、回収率の向上に努める。
- ・④については、マイナンバーカードと保険証の一体化（保険証の廃止）により、7年度のKPIは設定なし。

※2：保険者間調整とは、協会けんぽと国民健康保険等の保険者間で直接医療費の調整を行う制度。そのため、債務者は返納金を直接協会けんぽに支払う必要がなくなります。

保健グループ事業計画まとめ

【KPI設定あり】

分野	施策分類	K P I			全国順位	実績評価
		R6目標 (R5目標)		R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	
戦略的 保険者機能	特定健診実施率・事業者 健診データ取得率等の向上	①生活習慣病予防健診実施率	68.2%以上 (66.5%以上)	65.8% (69.4%)	14位 (13位)	B
		②事業者健診データ取得率	10.7%以上 (11.5%以上)	5.8% (7.9%)	34位 (24位)	C
		③被扶養者の特定健診実施率	29.5%以上 (30.0%以上)	26.1% (25.2%)	40位 (40位)	C
	特定保健指導実施率及び 質の向上	④被保険者の特定保健指導実施率	39.5%以上 (39.3%以上)	37.9% (42.3%)	1位 (1位)	A
		⑤被扶養者の特定保健指導実施率	26.0%以上 (14.5%以上)	25.1% (26.5%)	11位 (6位)	C
	重症化予防対策の推進	⑥健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合	対前年度以上 (-)※1	39.4% (37.5%)	3位 (2位)	A

※1：当該項目（重症化予防）は、令和6年度より条件を変更したため、令和5年度目標値は「-」と表記しています。

【KPI設定なし】

分野	施策分類	事業計画	実績評価
戦略的 保険者機能	重症化予防対策の推進	①糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施	a
		②慢性腎臓病（CKD）該当者等への受診勧奨	a
		③事業所を通じた「職場の喫煙対策」事業	a
		④心房細動リスク者への受診勧奨	b
	コラボヘルスの推進	⑤産業保健総合支援センター等と連携したメンタルヘルス対策	a

保健グループK P I 詳細

	R6目標 (R5目標)	R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	実績 評価
①生活習慣病予防健診実施率	68.2%以上 (66.5%以上)	65.8% (69.4%)	14位 (13位)	B

35歳以上の被保険者を対象として生活習慣病予防健診を実施。熊本県の働き盛り世代を中心に、対象者数約245,000人に向けて、特定健診＋がん検診も含んだメニューを展開。

【6年度総括】

- ・6年度は「受診する側＝事業所への受診案内」と「健診実施側＝健診機関への受入れ枠拡大の呼びかけ」の両面で、実施率向上に向けた事業を推進した。
- ・5年度と集計方法が変わったため、数値上KPI未達成となっているが、実際のグロス値は前年度を上回っており（70.3%）、高い水準をキープしている。

【7年度方針】

- ・7年度は、6年度事業に加えて、自治体や関係団体などの地域ネットワークを活用した受診拡大の取組みを推進する。

	R6目標 (R5目標)	R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	実績 評価
②事業者健診データ取得率	10.7%以上 (11.5%以上)	5.8% (7.9%)	34位 (24位)	C

生活習慣病予防健診を利用していない被保険者については、労働安全衛生法に基づく事業者健診データ（定期健康診断の結果）を取得することで特定健診を実施したものとみなされることから、当該データの取得を進める。

【6年度総括】

- ・6年度は、i）取得率への影響が大きい大規模事業所や業態を選定し、効果的な提供依頼を行った他、ii）健診機関から直接データの提供を受けるべく、健診機関への提供依頼を行った。
- ・6年度から、40歳未満者のデータも取得する方針となり、取得件数自体は微増しているが、KPI上（40歳以上者がカウント）は未達成となった。

【7年度方針】

- ・7年度は、上述 i）・ii）の取組みを継続しながら、i）の事業については外部委託も活用しながら着実なデータ取得に努める。

●被保険者向け「生活習慣病予防健診」

熊本県下約33,000事業所に、生活習慣病予防健診受診のご案内文書を送付。基礎的な健診項目に加え、5大がん検診も含んだ充実のメニュー。(以下パンフレットは令和7年度版)

事業主の皆さまへ

令和7年度(2025年4月~2026年3月)

生活習慣病 予防健診のご案内

令和6年度から
付加健診の
対象年齢を
拡大しました!

従業員の健康と事業所の将来を守るために、毎年の健診受診は重要です!

気づかぬうちに…
「生活習慣病」

私たちの健康に大きく関係する生活習慣病。その多くは、運動不足、不適切な食生活、喫煙、過度な飲酒等の不適切な生活の積み重ねによってメタボリックシンドロームとなり、これが原因となって引き起こされます。放置することで症状が悪化し、元の健康な状態に戻ることが困難とされています。

レベル0

- 身体活動・運動不足
- 不適切な食生活 (エネルギー・塩分・脂肪の過剰等)
- 喫煙 ● 過度の飲酒 ● 過度のストレス

メタボリックシンドローム®

レベル1

- 肥満 ● 高血糖 ● 高血圧 ● 脂質異常

レベル2

- 肥満症 (特に内臓脂肪型肥満)
- 糖尿病 ● 高血圧症 ● 脂質異常症

レベル3

- 肥満症 (特に内臓脂肪型肥満)
- 糖尿病 ● 高血圧症 ● 脂質異常症

レベル4

- 虚血性心疾患 (心筋梗塞・狭心症等)
- 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
- 糖尿病の合併症 (失明・人工透析等)

レベル5

- 半身の麻痺
- 認知症
- 日常生活における支障

※メタボリックシンドロームとは?

メタボリックシンドロームとは、お腹まわりに内臓脂肪がたまることで悪玉のホルモンが分泌され、高血圧・高血糖・脂質異常等が起こり、生活習慣病になりやすくなっている状態のことです。

出典：厚生労働省「生活習慣病のイメージ」を基に作成

健診内容 ① 年度内にお一人様につき1回、健診費用の一部を補助します

令和5年度から自己負担額が下がりました!

健診の種類	検査の内容	対象者	自己負担額
一般健診	・問診・診察等・身体計測・血圧測定 ・尿検査・便潜血反応検査・血液検査 ・心電図検査・胸部エックス線検査 ・胸部エックス線検査 ・眼底検査※医師が必要と判断した場合のみ	35歳~74歳の方 (75歳の誕生日の前日まで)	最高5,282円 最高79円
子宮頸がん検診(単独受診)	・問診・細胞診 ※自己採取による検査は実施していません。	20歳~38歳の 偶数年齢の女性の方	最高970円

※一般健診項目は、どの検査項目も生活習慣病の予防に必要であるため、すべて受診していただくようになっています。
体調不良等の理由で受けられない検査がある場合は、健診機関(医師)へご相談ください。

令和6年度から5歳刻みを対象に!

健診の種類	検査の内容	対象者	自己負担額
付加健診	・尿沈渣顕微鏡検査・血液学的検査 ・生化学的検査・眼底検査 ・肺機能検査・腹部超音波検査	一般健診を受診する 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、 65歳、70歳の方	最高2,689円
乳がん検診	・問診・乳房エックス線検査 ・視診・触診 ※検診、触診は医師の判断により実施	一般健診を受診する 40歳~74歳の偶数年齢の女性の方	50歳以上 最高1,013円 40歳~48歳 最高1,574円
子宮頸がん検診	・問診・細胞診 ※自己採取による検査は実施していません。	一般健診を受診する 36歳~74歳の偶数年齢の女性の方 ※36歳、38歳の女性は子宮頸がん検診の単独受診も可	最高970円
肝炎ウイルス検査	・HCV抗体検査・HBs抗原検査	一般健診を受診する方のうち、過去にC型肝炎ウイルス検査を受けたことがない方	最高582円

※受診時に協会けんぽの被保険者であることが必要です。退職等により被保険者資格を喪失した後に協会けんぽの健診を受診された場合は、後日、協会けんぽが補助を行った健診費用をお返しいたことになります。
※検査の具体的な方法及び内容、検査の実施にあたっての注意事項等については、直接健診機関にお尋ねください。
※検査の内容やがん検診のメリット・デメリットについては、協会けんぽホームページ(どんな検査があるの? <https://www.kyokaikenpo.or.jp/g4/cat410/sb4020/>)をご覧ください。
※健診結果は受診者自身の今後の健診・治療及び保健指導による保健指導・健康相談並びに個人が識別されない方法での統計・調査研究にのみ利用します。

協会けんぽ
どんな検査があるの?

保健グループK P I 詳細

	R6目標 (R5目標)	R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	実績 評価
③被扶養者の特定健診実施率	29.5%以上 (30.0%以上)	26.1% (25.2%)	40位 (40位)	C

40歳以上の被扶養者を対象として特定健診を実施。対象者数約58,000人に向けて、県内各地での巡回健診や、自治体の実施するがん検診（集団健診）との同時実施等の機会を作って受診を推進する。

【6年度総括】

- ・6年度は、i) 県内を巡回し協会主催の集団健診を約160回開催、ii) 自治体の実施するがん検診（集団健診）との同時実施を推進した。
- ・経年的に見ると受診率は漸増しているものの、被保険者の受診率に比べると伸び悩んでいる。

【7年度方針】

- ・7年度は、上述 i) ・ ii) の取組みを継続しながら、特に i) については「骨粗鬆症検診」・「歯科検診」のオプション検査を無料で付与するなどの方策によって受診率の向上させ、受診率アップを目指す。

	R6目標 (R5目標)	R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	実績 評価
④被保険者の特定保健指導実施率	39.5%以上 (39.3%以上)	37.9% (42.3%)	1位 (1位)	A

健診を受けた40歳以上の被保険者の中で、健診結果からメタボリックシンドロームのリスクがある方に特定保健指導を行う。実施方法は「協会の保健師・管理栄養士が行う」直営方式と「健診機関や専門機関が行う」外部委託方式を採用している。

【6年度総括】

- ・6年度は、「健診機関による健診当日の特定保健指導初回面談実施」を強力に推進した他、ICTを活用した遠隔面談や継続的支援などを外部委託により実施した。
- ・結果として、KPIこそ達成できなかったが、実施率の順位は令和4年度から3年連続の全国1位を獲得することができた。

【7年度方針】

- ・7年度も、健診機関などの外部委託事業を中心に実施率の向上を図っていく他、「対象者に響く（行動変容を促す）保健指導」を追求し、「質の向上」にも注力していく。

●被扶養者向け「特定健診」

被扶養者向けには、特定健診項目と無料オプション検査もついた巡回健診＝「くまとく健診」を中心に展開（図-1）。

なお、被扶養者の「がん検診」はお住いの自治体が行うため、協会の特定健診と市町村のがん検診を同時に受診できる機会の創出にも努めている（図-2）。

（図-1）被扶養者向け「くまとく健診」受診のご案内ダイレクトメール

くまとく健診日程表

各会場は下記の時間帯の30分ごとに人数制限を行い、先着順とさせていただきますので、お早めにご予約ください。

会場	日付	曜日	時間
ユースピア熊本 2階 大ホール 熊本市中央区水前寺3-17-15	2月 19日	水	9:00～10:30
	2月 26日	水	10:00～11:30
	3月 4日	火	9:30～11:00
	3月 11日	火	9:30～11:00
西部公民館 1階 ホール 熊本市西区小島2-7-1	2月 6日	木	10:00～11:30
	2月 12日	水	10:00～11:30
	2月 26日	水	10:00～11:30
	3月 4日	火	9:30～11:00
幸田公民館 2階 ホール 熊本市南区幸田2-4-1	2月 6日	木	10:00～11:30
	2月 12日	水	10:00～11:30
	2月 26日	水	10:00～11:30
	3月 4日	火	9:30～11:00
光の森市民センターキャロピッパ 1階 会議室 熊本市東区光の森2丁目1-1	2月 6日	木	10:00～11:30
	2月 12日	水	10:00～11:30
	2月 26日	水	10:00～11:30
	3月 4日	火	9:30～11:00
ウィンクまつばせ 1階 視聴覚室 半田市松崎町大野85	2月 6日	木	10:00～11:30
	2月 12日	水	10:00～11:30
	2月 26日	水	10:00～11:30
	3月 4日	火	9:30～11:00
宇土市保健センター 1階 集団指導室 宇土市南政厚町164-3	2月 6日	木	10:00～11:30
	2月 12日	水	10:00～11:30
	2月 26日	水	10:00～11:30
	3月 4日	火	9:30～11:00
菊池市文化会館 1階 小ホール 菊池市52	2月 6日	木	10:00～11:30
	2月 12日	水	10:00～11:30
	2月 26日	水	10:00～11:30
	3月 4日	火	9:30～11:00
コソコファーム たまご蔵 2階 大会議室 菊池市森北1077	2月 6日	木	10:00～11:30
	2月 12日	水	10:00～11:30
	2月 26日	水	10:00～11:30
	3月 4日	火	9:30～11:00
湯泉プラザ10階3号 イベントホール 山形市山形1-1-1	2月 6日	木	10:00～11:30
	2月 12日	水	10:00～11:30
	2月 26日	水	10:00～11:30
	3月 4日	火	9:30～11:00
ゆめタウンシティモビル 1階 シティモビル 大津市大津町5-20	2月 6日	木	10:00～11:30
	2月 12日	水	10:00～11:30
	2月 26日	水	10:00～11:30
	3月 4日	火	9:30～11:00
イオンモール熊本 2階 イオンホール 上益城郡最上町人土上島子長2232	2月 6日	木	10:00～11:30
	2月 12日	水	10:00～11:30
	2月 26日	水	10:00～11:30
	3月 4日	火	9:30～11:00
ひのくにふれあいセンター 1階 研修室 合志市東2295-2	2月 6日	木	10:00～11:30
	2月 12日	水	10:00～11:30
	2月 26日	水	10:00～11:30
	3月 4日	火	9:30～11:00
宝島市民会館 合志市 第1会議室 合志市東1224	2月 6日	木	10:00～11:30
	2月 12日	水	10:00～11:30
	2月 26日	水	10:00～11:30
	3月 4日	火	9:30～11:00
人吉市 人吉市カルチャーバス2階 第1会議室 人吉市下城本1578-1	2月 6日	木	10:00～11:30
	2月 12日	水	10:00～11:30
	2月 26日	水	10:00～11:30
	3月 4日	火	9:30～11:00
大津市市民センター 大会議室 大津市大津町5-20	2月 6日	木	10:00～11:30
	2月 12日	水	10:00～11:30
	2月 26日	水	10:00～11:30
	3月 4日	火	9:30～11:00

お住いの市町村に限らず、どの会場でも受診できます。

（図-2）熊本市の例／がん検診同時受診イベントのご案内ダイレクトメール

保健グループK P I 詳細

	R6目標 (R5目標)	R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	実績 評価
⑤被扶養者の特定保健指導実施率	26.0%以上 (14.5%以上)	25.1% (26.5%)	11位 (6位)	C

40歳以上の被扶養者に向けても、被保険者と同様に特定保健指導を実施している。

【6年度総括】

- ・事業の主軸は、県内を巡回して開催する、協会主催の集団健診（年間160回開催）での「健診当日の保健指導初回面談」の推進。
- ・経年的に推進してきたこの取組みが功を奏し、実施率の全国順位は上位をキープしている。

【7年度方針】

- ・7年度も引き続き当該取組みを軸に保健指導の「量的拡大」を進めながら、同時に「質の向上（保健指導師のスキルアップなど）」にも注力していく。

	R6目標 (R5目標)	R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	実績 評価
⑥健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合	対前年度以上 (-)※1	39.4% (37.5%)	3位 (2位)	A

※1：当該項目（重症化予防）は、令和6年度より条件を変更したため、令和5年度目標値は「-」と表記しています。

健診結果から、血圧・血糖・脂質の結果が一定基準以上の方に、ダイレクトメールや支部の保健師による電話・お手紙での「医療機関受診勧奨」を行っている。

【6年度総括】

- ・ダイレクトメールや電話等での受診勧奨の効果により、全国順位3位という好順位を達成した。健診を受診した健診機関から、対象者（受診者）への積極的な勧奨も功を奏している。

【7年度方針】

- ・7年度は、支部独自で経年的に実施している「CKDハイリスク者（※2）への受診勧奨」についても一層注力していく。
- ※2：CKD…慢性腎臓病。熊本県では生活習慣病に起因する腎疾患患者数の増加により、人工透析の患者率が全国有数であり、県全体の課題である。

熊本県は、メタボリスク保有者が全国比で高く、それに伴い「高血糖」→「腎疾患」→「人工透析患者数」も多いのが現状。熊本支部では、このようなリスクを抱える方々にアプローチし、医療機関への受診を促す事業（受診勧奨）を行っている。

あなたは **今すぐ** 医療機関に**受診**を！

健診結果を踏まえた次の行動が重要！

① あなたの健診結果は

血圧	血糖	脂質	尿酸
収縮期血圧	空腹血糖	LDLコレステロール値	尿酸値
mmHg	mmHg	mg/dL	%

ここに		ここに		ここに		ここに	
血圧	血糖	脂質	尿酸	脂質	尿酸	尿酸	尿酸
収縮期血圧 mmHg	空腹血糖 mmHg	LDLコレステロール値 mg/dL	尿酸値 %	LDLコレステロール値 mg/dL	尿酸値 %	尿酸値 %	尿酸値 %
正常範囲 <120	正常範囲 <100	正常範囲 <150	正常範囲 <6.0	正常範囲 <150	正常範囲 <6.0	正常範囲 <6.0	正常範囲 <6.0
境界値 120~139	境界値 100~126	境界値 150~189	境界値 6.0~6.9	境界値 150~189	境界値 6.0~6.9	境界値 6.0~6.9	境界値 6.0~6.9
異常範囲 ≥140	異常範囲 ≥127	異常範囲 ≥190	異常範囲 ≥7.0	異常範囲 ≥190	異常範囲 ≥7.0	異常範囲 ≥7.0	異常範囲 ≥7.0

この通知は健診結果において、血圧高、血糖異常、脂質異常（またはHbA1c）、LDLコレステロール値が「異常」（「要精密検査」と判断されたもの）のうち、健診受診時および健診結果を踏まえた次の行動が重要となります。なお、本表で行き渡らない項目は医療機関でご相談、受診されていますが、医師の指示に従って行動することとなります。必ず、健診結果をお知らせください。

② 生活習慣病

私たちの健康に大きく関係する生活習慣病。その多くは、運動不足、不適切な食生活、喫煙、過度な飲酒等の**不適切な生活の積み重ね**によってメタボリックシンドロームとなり、これが原因となって引き起こされます。放置することで症状が悪化し、**健康な状態に戻る**ことが困難とされています。今すぐ医療機関に受診することをお勧めします。

メタボリックシンドロームは、**5つの項目のうち3つ以上が該当する**状態です。

- レベル1**
 - 身体活動・運動不足
 - 不適切な食生活（エネルギー・塩分・脂肪の過剰摂取）
 - 喫煙
 - 過度の飲酒
 - 過度のストレス
- レベル2**
 - 肥満
 - 高血糖
 - 高血圧
 - 脂質異常
- レベル3**
 - 肥満症（特に内臓脂肪型肥満）
 - 糖尿病
 - 高血圧症
 - 脂質異常症
- レベル4**
 - 虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症等）
 - 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
 - 糖尿病の合併症（失明・人工透析等）
- レベル5**
 - 半身の麻痺・認知症
 - 日常生活における支障

③ 高血圧、高血糖、脂質異常等を放置するとどうなる？

▽高血圧

- 高血圧は心臓に負担がかかることで脳卒中（脳出血、脳梗塞等）の発症リスクが高まります。
- 収縮期血圧値：160mmHg以上 **5.2倍**
- 拡張期血圧値：100mmHg以上 **5.2倍**
- 収縮期血圧値：180mmHg以上 **8.4倍**
- 拡張期血圧値：110mmHg以上 **8.4倍**
- 出典：日本高血圧学会
- 高血圧治療ガイドライン(2019)を基に作成

▽高血糖

- 高血糖の状態を放置すると、場合によっては、人工透析が必要になります。
- その**約4割は、糖尿病性腎症**が原因です。
- 出典：日本糖尿病学会・日本腎臓学会
- 19年10月1日現在、日本糖尿病学会・日本腎臓学会の調査結果(2020年12月1日現在)

▽脂質異常

- LDLコレステロール値が180mg/dL以上の人、100mg/dL未満の人と比べて**約3~4倍**、心臓病等になります。
- 出典：日本動脈高血圧学会
- 「脂質異常治療プログラム(令和元年版)」

▽尿酸値

- 尿酸値が高い状態を放置すると、痛風発作の頻度が高まります。
- 尿酸値が10mg/dL以上になると、**10倍以上**、腎臓病の発症リスクが高まります。
- 出典：日本動脈高血圧学会
- 「脂質異常治療プログラム(令和元年版)」

- 動脈硬化**
 - 脳出血・脳梗塞
 - 狭心症・心臓病
- 糖尿病**
 - 糖尿病性腎症
 - 糖尿病性網膜症
- 慢性腎臓病**

④ 自覚症状もないのに受診する意味がある？

高血圧、糖尿病、脂質異常等の生活習慣病は、自覚症状がないまま徐々に進行するもの、治癒せずに放置すると、動脈硬化が進み脳卒中、心疾患や脳卒中等の発症する危険度が高くなります。

健診で「要治療」「要精密検査」の結果が出たら、自分の身体の状態を見直す大事なターニングポイント。

早期に受診することで、重大な病気のリスクを下げられます。

あなたの腎臓を守るために

あなたの腎臓の状態

尿蛋白 (－) ☹️

eGFR 51.5 ☹️
mL/min/1.73m²



尿たんぱくについて

たんぱく質は本来、尿に漏れ出ることにはありません。尿に何らかの病があることが疑われます。

尿たんぱく	尿たんぱく濃度	対応
★ 異常	尿たんぱく陽性 (+2/+3)	すぐに医療機関を受診
正常	尿たんぱく弱陽性 (±)	医療機関を受診して尿の再検査を
	尿たんぱく陰性 (-)	今後継続して尿検査を受け

腎臓の動き (eGFR)について

eGFRは、腎臓の糸球体で1分間にどれだけの量の血液をろすか。尿を作る能力を示す数値です。eGFR50であれば、腎臓は50%しか働いていないことを示します。

eGFR	腎臓の状態
★ 30	15未満 透析・移植の準備 15未満のeGFRの場合は 透析開始・移植待機
20	15〜29 腎臓専門医による治療・フォロー
30	30〜44 必ず腎臓専門医によるフォロー
40	45〜59 腎臓専門医によるフォロー
50	60〜89 腎臓能力が半分未満に低下している状態
90以上	今後も継続して尿検査を受け

「医療情報ネット(ナビ)」
QRそのままでナビにつながります

医療情報ネット(ナビ) 

予約した診察日時と医療機関名を忘れないようメモしておきましょう。

診察日時 月 日 時

医療機関名



受付時間：月～金 9:00～17:00(土日祝休日・年末年始は除く) ※本状と行き違いで既に医療機関へ受診されている際は、何卒ご容赦ください。

企画総務グループ事業計画まとめ

【KPI設定あり】

分野	施策分類	K P I			全国順位	実績評価
		R6目標 (R5目標)		R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	
戦略的 保険者機能	コラボヘルスの推進	①健康宣言事業所数	2,930事業所 (2,080事業所)	3,325事業所 (2,940事業所)	6位 (7位)	A
	医療費適正化	②ジェネリック医薬品使用割合	85.6%以上 (84.0%以上)	90.3% (85.6%)	13位 (9位)	A
	広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進	③全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合	64.7%以上 (62.0%以上)	67.3% (66.1%)	10位 (9位)	B
		④健康保険委員の委嘱事業所数	6,817事業所 (設定なし)	7,026事業所 (6,971事業所)	16位 (14位)	B
	内部統制等	⑤一般競争入札に占める一者応札案件の割合	15%以下 (20%以下)	6.3% (0%)	22位 (1位)	B

【KPI設定なし】

分野	施策分類	事業計画	実績評価
戦略的 保険者機能	医療費適正化	①ポリファーマシー（多剤服用の有害事象）等に係る医療関係者への情報提供や加入者への周知・啓発	a
		②上手な医療のかかり方（かかりつけ医、時間外受診・はしご受診の問題点、リフィル処方箋等）に係る加入者への周知・啓発	a
	広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進	③広報活動における「加入者・事業主目線」、「地域・職域特性への対応」、「多様な広報媒体の活用」、「PDCAの実践」	b
	地域の医療提供体制等へのデータを活用した意見発信	④「熊本県保健医療計画」及び「熊本県における医療費の見通しに関する計画」に係る意見発信	b
		⑤地域医療構想調整会議、健康づくりや医療費適正化に関する県の会議等における意見発信	b
	保険者機能の強化を支える組織・運営体制等の整備	⑥「人材育成」、「働き方改革」、「内部統制」「個人情報保護」、「法令等規律の遵守（コンプライアンス）」、「災害対応」、「コスト削減」	b

企画総務グループK P I 詳細

	R6目標 (R5目標)	R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	実績 評価
①健康宣言事業所数	2,930事業所 (2,080事業所)	3,325事業所 (2,940事業所)	6位 (7位)	A

協会けんぽに対して、健康宣言（事業主による健康経営への決意表明）を行った事業所数。

【6年度総括】

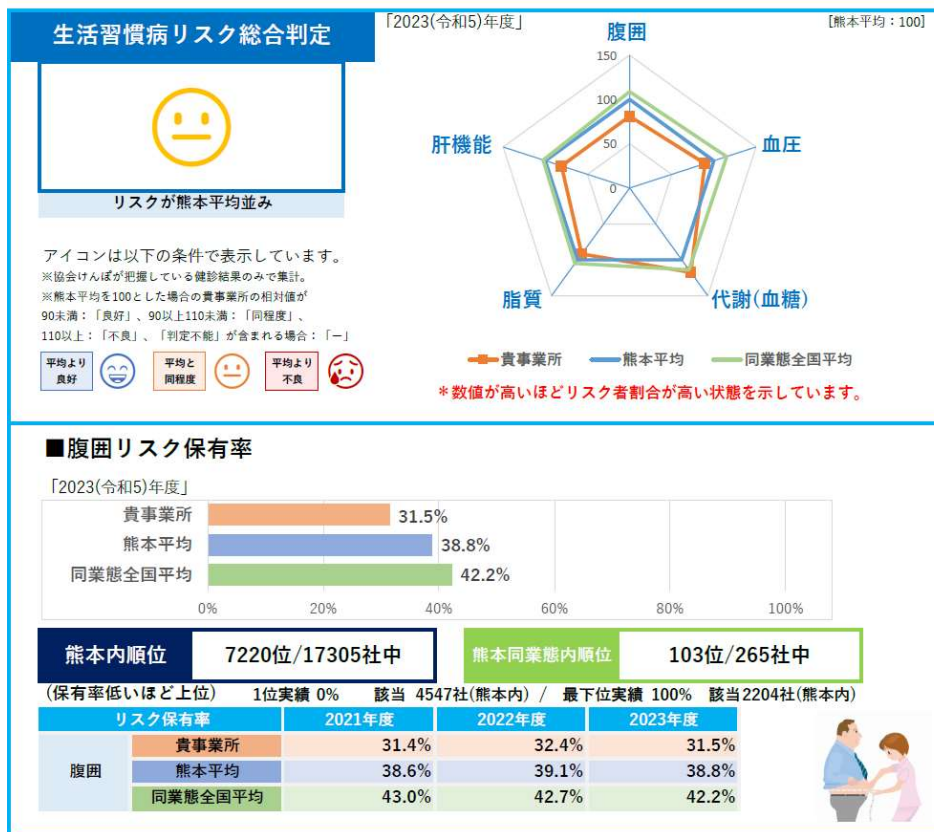
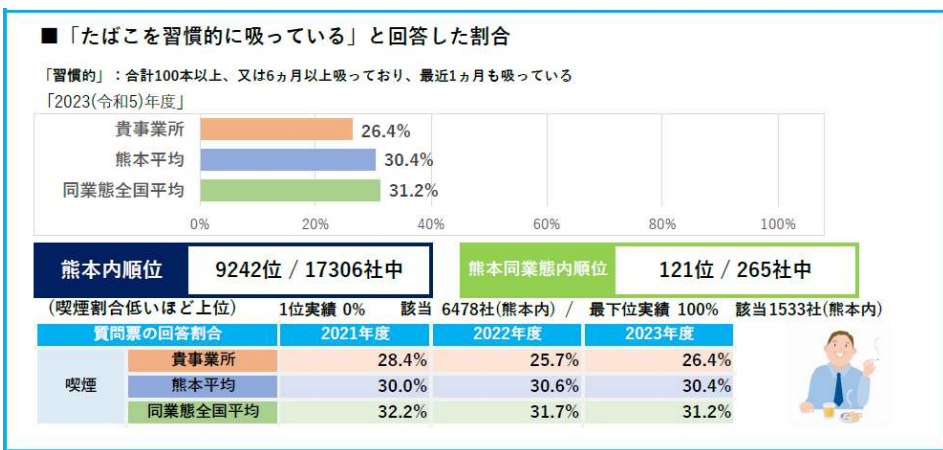
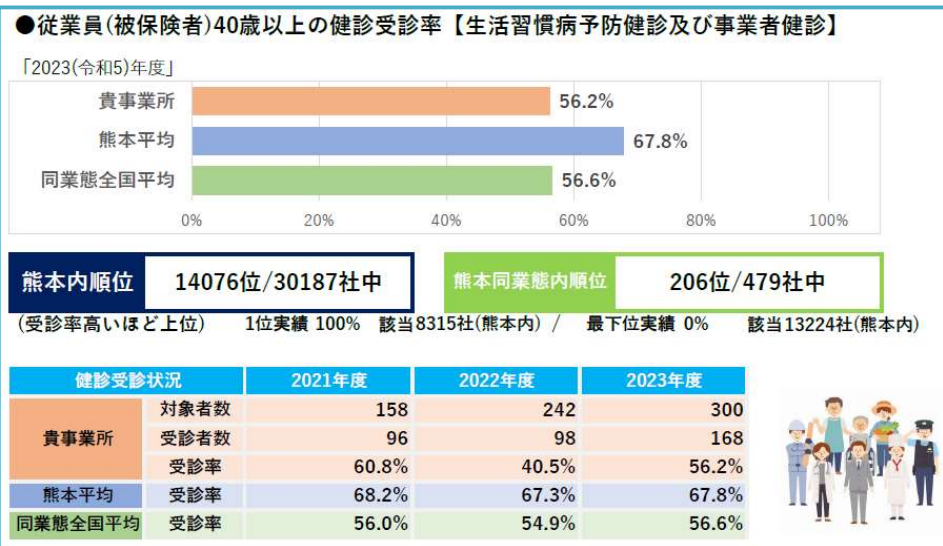
- ・「事業所カルテ」を活用した健康宣言勧奨により大幅増。
- ・課題は、健康宣言事業所の質の向上。協会によるフォローアップの拡充。

【7年度方針】

- ・引き続き、「事業所カルテ」を活用した勧奨を9月に実施予定。
- ・フォローアップとして、「健康づくり出前講座」（13講座→15講座へ拡充）と、「健康経営計画の策定コンサル」（新規）をスタート。

事業所カルテのイメージ

健診受診率や健診結果から分かる生活習慣病リスク保有率、健診の際の問診票から分かる喫煙や運動習慣の有無などを、事業所ごとに集計し見える化したもの。経年変化や県内での順位等も掲載。この事業所カルテを活用し健康宣言を勧奨している。



出前講座の概要

健康宣言を行った事業所への無料サービス（フォローアップ）として、以下の15テーマの中から好きな講座を受講できる。
ご希望の日時と場所へ、セミナー講師を派遣する。（オンライン受講も可）

出前講座テーマ

最大60分・2テーマまで選べます！！

※R6年度健康づくりセミナーと内容は同様です。
NEW! は今年度追加したテーマになります。

60分コースがおすすめ オンライン不可 一緒に受講おすすめの講座番号

15選

1 食習慣 バランスの良い食事とは “ちょこっとチェンジ”で、無理なくバランスの良い食事を身につける	2 飲酒 上手なアルコールとの付き合い方 健康を守りながら、上手にアルコールとつきあうコツについてご紹介	3 運動 自分のからだの状態を知ろう ～柔軟性・筋力・バランスをチェック～ 実技を交えながら、簡単にできる運動をご紹介します おススメ： 60分 4	7 メンタルヘルス対策 (従業員向け) ストレスと上手に付き合う方法 ストレスに気づき、対処する知識、方法を身につける おススメ： 60分	8 メンタルヘルス対策 (管理者向け) ラインケア ～部下の“いつもと違う”に要注意～ 管理監督者が従業員の健康管理に取り組む「ラインケア」について知識を深める	9 睡眠 良い睡眠をとる方法 睡眠が満足していますか？ “良い睡眠”を確保して、心と体の健康を守る
4 肩こり・腰痛予防 職場の肩こり・腰痛予防 肩こり・腰痛の原因や予防についてストレッチを交えながらご紹介 おススメ： 3	5 たばこ 禁煙・受動喫煙防止であなたとあなたの大切な人の健康を守る タバコをやめられないのはなぜ？ タバコに関する知識を深め、禁煙を目指す おススメ： 6	6 お口の健康 口から始める健康づくり ～歯周病予防～ 正しい知識と適切なセルフケアで歯周病を予防する	10 健診結果の活用 健診結果と生活の関係を知ろう ～あなたの血管はどんな状態？～ 健診結果から体のサインを読み取り、生活習慣病の予防につなげる おススメ： 11	11 健診結果の活用 がんは「万が一」ではなく「二分の一」 がん対策の基本は早期発見・早期治療！ がんに対する知識を深める おススメ： 10	12 女性の健康課題 女性がいきいきと輝く職場づくりの実現に向けて 働く女性の健康増進を支える職場づくりのきっかけに
13 エイジフレンドリー エイジフレンドリーな職場づくり ～多様な世代が活躍できる環境とは～ すべての世代が働きやすい職場づくりに			14 過重労働防止 会社も社員も守る、過重労働をなくす職場づくり 健康的に働く職場づくりについてご紹介		15 健康経営 今から始める未来への投資 ～健康経営～ 健康経営優良法人ホワイト500に認定された当センターが健康経営の趣意を伝授

健康経営コンサルの概要

健康宣言を行った事業所への無料サービス（フォローアップ）として、「健康経営計画書の策定」を目指し、サポートを行う。
「入門コース」と「推進コース」の2コース。

入門コース

できることから始める健康経営計画づくりをサポート！

対象：
これから健康経営に取り組みたい企業

内容：

- ①「健康経営」入門セミナー
- ②わが社の現状を振り返ってみよう
- ③できることからやってみよう

推進コース

健康経営の一步先へ役立つヒントを伝授！

対象：
すでに健康経営に取り組んでいる企業

内容：

- ①強みと課題を整理しよう
- ②取り組み事例をご紹介
- ③一步先ゆく取り組みを考えよう

	R6目標 (R5目標)	R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	実績 評価
②ジェネリック医薬品使用割合	85.6%以上 (84.0%以上)	90.3% (85.6%)	13位 (9位)	B

加入者によるジェネリック医薬品の使用割合（数量ベース）。

【6年度総括】

・堅調に推移。ジェネリック医薬品を使用することで一定以上（3か月で4,000円以上）の薬剤費軽減が見込める加入者約1,300人を割り出し、自宅へダイレクトメールを送付。

【7年度方針】

・引き続き、効果が見込める加入者をターゲティングし、勧奨を行う。

「上手な医療のかかり方」勧奨ダイレクトメール（テーマ：ジェネリック医薬品）のイメージ

ジェネリック医薬品がある先発医薬品の処方を受け、かつ、ジェネリック医薬品との差額が3か月間で4,000円以上（10割）見込まれる加入者約1,300人に対してDMを送付。この他にも「時間外受診」や「多剤服薬」、「重複受診」など、合計5テーマの「上手な医療のかかり方」について、合計約10,000人に対してDMを送付。

医療機関の受診にはマイナ保険証をぜひご利用ください。
マイナバーカードを健康保険証として利用することで様々なメリットが得られます。医療機関や薬局での受診の際は、ぜひマイナ保険証をご利用ください。

マイナ保険証のメリット

- データに基づき、適切な医療を受けられる
- 手続きなしで高額療養費の自己負担限度額を超える支払いが免除される

特定健診や診療の情報を共有できるので、検査や投薬の重複が防げるほかデータに基づくより適切な医療が受けられます。
※本人の同意が必要です。

マイナバーカードで医療機関を利用するため、一度健康保険証の申請が必要になります。

この他にもマイナ保険証を利用するとマイナポータルで医療費や処方されたお薬の確認もできます！

マイナバーカードをマイナ保険証として利用する方法
マイナバーカードを健康保険証として利用できるようにするには、事前に「保険証利用の登録」を行っていただく必要があります。

保険証利用の登録はここでできます。

- 医療機関窓口のカードリーダー
- セブン銀行ATM
- マイナポータル

マイナバーカードの申し込み・利用に関するお問い合わせ先

0120-95-0178
受付時間 9:00～20:00（土日・祝日 9:00～17:00（年末年始除く））
※マイナバーカードの申し込み・利用に関するお問い合わせ先は、マイナポータル（マイナ保険証）のマイナヘルプセンター（マイナヘルプ）からお問い合わせください。

マイナバーカードの申し込み・利用に関するお問い合わせ先

0570-015-369
受付時間 9:00～20:00（土日・祝日 9:00～17:00（年末年始除く））
※マイナバーカードの申し込み・利用に関するお問い合わせ先は、マイナポータル（マイナ保険証）のマイナヘルプセンター（マイナヘルプ）からお問い合わせください。

協会けんぽ熊本支部からの大切なお知らせです。

上手な医療のかかり方で、すこやかな毎日を。

このお知らせは、今後も安心して医療を受けるために役立つ情報の提供を目的として、定期的に発行いたします。ぜひご覧ください。

このお知らせは、今後も安心して医療を受けるために役立つ情報の提供を目的として、定期的に発行いたします。ぜひご覧ください。

このお知らせは、今後も安心して医療を受けるために役立つ情報の提供を目的として、定期的に発行いたします。ぜひご覧ください。

ご存じですか？85%の割合でジェネリック医薬品が選ばれています。実は多くの方が利用しているんです。

ジェネリック医薬品は広く認知され、利用率も高まっていますが、「本当に効くの？」「安心して利用できる？」という不安を持つ方もいらっしゃいます。これを機に、ジェネリック医薬品へ切り替えをぜひご検討ください。

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは？

ジェネリック医薬品は、先発医薬品（新薬）と同等の有効成分・効能があると国が認めたお薬です。新薬の特許が切れた後に作られ、開発コストが抑えられるため、新薬よりも低価格で医療費の節約につながるのが特徴です。

ジェネリック医薬品の特徴

安価	安全性	改良
 開発コストを大幅に削減 先発医薬品よりも3割～5割価格が抑えられており、経済的負担が軽減されます。	 国の厳格な審査を通過 先発医薬品と効き目や安全性が同等であると、厚生労働省が承認したお薬です。	 飲みやすさなどを改良 先発医薬品と同じ有効成分を含み、飲みやすさの改善、苦味の抑制など、改良がされています。

どんなジェネリック医薬品がおトクなの？

特に**長期服用**、**使用頻度の高いお薬**には大きなメリットとなります！

糖尿病のお薬 **高血圧症のお薬** **脂質異常症のお薬** など

それぞれの代表的なお薬を服用した場合の料金例*

糖尿病の場合	高血圧症の場合	脂質異常症の場合
先発医薬品 5,540円 ジェネリック医薬品 3,493円 差額 2,047円 ※1日1錠1年間服用（3割負担）	先発医薬品 6,635円 ジェネリック医薬品 4,916円 差額 1,719円 ※1日1錠1年間服用（3割負担）	先発医薬品 17,629円 ジェネリック医薬品 9,055円 差額 8,574円 ※1日1錠1年間服用（3割負担）

出典：日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 リーフレット「注目！ジェネリック医薬品」のすべて。ご存じですか？薬剤にやさしいお薬を。

ジェネリック医薬品へ切り替えを進めましょう。

ジェネリック医薬品に切り替え、お薬代を減らすことは、皆様の**保険料の負担軽減**にもつながります。ジェネリック医薬品へ切り替えを希望する場合は、かかりつけの医師または薬剤師にご相談ください。

病気や体質により、ジェネリック医薬品に変更できないことがあります。また、流通の問題で切り替えられない場合もありますので、詳しくは医師または薬剤師にご相談ください。

「データ分析結果の情報提供」という形で、県内すべての医科医療機関1,362件へ送付。同封したアンケート（回答数：250）によれば、本ＤＭに対する評価は、「非常に良い・良い」50.8%、「普通」43.6%、「悪い」1.2%と概ね好評であった。

 全国健康保険協会 熊本支部
協会けんぽ

企画総務グループK P I 詳細

	R6目標 (R5目標)	R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	実績 評価
③全被保険者数に占める健康保険委員が 委嘱されている事業所の被保険者数の割 合	64.7%以上 (62.0%以上)	67.3% (66.1%)	10位 (9位)	B
④健康保険委員の委嘱事業所数	6,971事業所 (設定なし)	7,026事業所 (6,971事業所)	16位 (14位)	B

事業所における健康保険担当者や健康づくり担当者を「健康保険委員」として委嘱。協会けんぽと加入者をつなぐパイプ役。

【6年度総括】

- ・健康宣言と併せて健康保険委員を募ったことで順調に増加。
- ・課題は、健康保険委員へのフォローの強化。委員活動の活性化を目指す。

【7年度方針】

- ・健康宣言と併せた健康保険委員の勧奨を継続。規模や業種、地域等を分析し、ターゲットを絞った勧奨も実施予定。
- ・健康保険委員向け広報誌「スマイルけんぽ」（年4回発行）を、4ページから24ページの冊子に拡充。

⑤一般競争入札に占める一者応札案件の割合	R6目標 (R5目標)	R6実績 (R5実績)	R6順位 (R5順位)	実績 評価
	15%以下 (20%以下)	6.3% (0%)	22位 (1位)	B

調達における競争性を高め、コスト削減につなげるため、一般競争入札に占める一者応札案件の割合をKPIとしている。

【6年度総括】

- ・複数業者の競争参加により、公平性、透明性が確保でき、コストの削減が実現。
- ・一般競争入札案件は16件で、うち1者応札は1件のみ。

【7年度方針】

- ・委託スケジュールを念頭に、調達公告をできる限り早いスケジュールで行う。
- ・引き続き、複数業者の参加となるよう、コスト削減を意識し取り組む。